

# 目次

〈提言要旨〉

ヘルスマネジメントで社会貢献  
～荒尾市における健康意識改革～

|                              |    |
|------------------------------|----|
| はじめに                         | 1  |
| 1 現状分析                       | 1  |
| (1) 人口の推移                    | 1  |
| (2) 医療費の現状                   | 2  |
| (3) 市町村国保の財政状況               | 2  |
| (4) 国保の特定健診・特定保健指導の状況        | 3  |
| (5) 班員所属5市町の国保の現状            | 3  |
| 2 荒尾市の現状分析                   | 4  |
| (1) 疾病別医療費の状況                | 4  |
| (2) 国保特定健診と特定保健指導の状況         | 5  |
| (3) 班員所属5市町の健診受診率の推移         | 6  |
| (4) 未受診者アンケートの結果             | 7  |
| (5) 自治大生へのアンケート調査の結果         | 8  |
| 3 研究課題                       | 9  |
| 4 政策提言                       | 10 |
| (1) 意識啓発を行い健診受診率の向上を目指した取組み  | 10 |
| (2) “健康意識”の変革を図るための取組み       | 11 |
| (3) “健康意識の積上げ・維持向上”を図るための取組み | 12 |
| おわりに                         | 13 |

= 提言の要旨 =

# ヘルスマネジメントで社会貢献

～荒尾市における健康意識改革～

## 【医療を取り巻く社会情勢】

### 少子高齢化・医療の高度化

- 一人当たり医療費の増加
- 現役世代に重い負担

### 国民所得の急落

- 医療費が家計を圧迫

特定健診受診率・特定保健指導実施率の低迷

### 生活習慣病患者の増加

- 医療費の増加に直結
- 市町村国保の財政が逼迫

## 【モデル自治体（荒尾市）の現状】

- ◆ 生活習慣病患者の割合が高く、一人あたり医療費を押し上げている
- ◆ 特定健診受診率及び特定保健指導実施率の低迷が顕著
- ◆ 健康に対する意識が希薄（特に 40～50 歳代）

## ★★研究課題★★

- (1) 意識啓発を行い特定健診受診率の向上を図る
- (2) 生活習慣病予備群等に対する保健活動の強化により“健康意識の改革”を図る
- (3) 健康である期間を平均寿命に近づけるよう“健康意識の積み上げ・維持向上”を図る

## 政策提言

(1) 意識啓発を行い特定健診受診率の向上を目指した取組み

(2) “健康意識の  
変革”を図るための取組み

(3) “健康意識の積み上げ・維持向上”を図るための取組み

## 施策の効果

# 生活習慣病患者の減少による医療費の抑制